

## 主な表彰・感謝状 授受

- 1997(平成9)年9月  
感謝状：環境庁長官より  
ロシア船籍タンカーナホトカ号の油流出事故に対する環境保全活動及びその支援活動に対し
- 2002(平成14)年11月  
表彰状：鳥取県知事より  
野生動物保護救済活動に対し
- 2003(平成15)年5月  
表彰状：環境大臣より  
野生動物保護活動に対し
- 2021(令和3)年9月  
表彰状「エンジン01 動物愛護・川島なお美賞」大賞：エンジン01文化戦略会議 動物愛護委員会より  
動物愛護活動に対し
- 2021(令和3)年9月  
表彰状：環境大臣より  
動物愛護活動に対し



2021年度 動物愛護管理功労者大臣表彰

## 出版

### 定期刊行物

- 動物臨床医学
- 動物臨床医学会年次大会プロシーディング(電子版)
- 合同カンファレンス冊子
- 会員向けNewsLetter「ミューズ」
- 人と動物の会NewsLetter「アミティエ」
- 野生どうぶつ友の会NewsLetter「Pinyo」

### その他 主な出版物

- みんなイヌ、みんなネコ(企画・協力)
- イヌ・ネコ ペットのためのQ&A
- イヌ・ネコ家庭動物の医学大百科(改訂版)
- イヌ・ネコ家庭動物の医学大百科(改訂版/電子版)
- 伴侶動物が出会う中毒



## 沿革

- 1980(昭和55)年11月 動物病院臨床研究グループ年次大会開催
- 1981(昭和56)年10月 小動物臨床研究所開設
- 1982(昭和57)年11月 小動物臨床研究会年次大会開催  
(動物病院臨床研究グループ年次大会より名称変更)
- 1991(平成3)年4月 組織を財団法人(鳥取県認可)に改組  
財団法人鳥取県動物臨床医学研究所となる
- 1996(平成8)年1月 本館竣工
- 1996(平成8)年11月 動物臨床医学会年次大会開催  
(小動物臨床研究会年次大会を学会として発足)
- 2001(平成13)年4月 附属野生生物センター開設
- 2011(平成23)年4月 組織を公益財団法人(内閣府認可)に移行  
公益財団法人動物臨床医学研究所となる
- 2011(平成23)年12月 「人と動物の会」を発足
- 2013(平成25)年9月 人と動物の未来センター「アミティエ」本館竣工
- 2014(平成26)年4月 鳥取県とアミティエとの連携開始  
(鳥取県動物愛護センター)
- 2018(平成30)年3月 人と動物の未来センター「アミティエ」新館竣工
- 2018(平成30)年4月 鳥取市とアミティエとの連携開始
- 2022(令和4)年4月 子ども図書館開設



### 公益財団法人 動物臨床医学研究所

〒682-0025 鳥取県倉吉市八屋214-10  
Tel.0858-26-0851 Fax.0858-26-2158  
E-mail: dorinken@apionet.or.jp  
URL: <https://dourinken.com/>



### 東京事務所(人と動物の会)

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-7-6  
茅場町スクエアビル2F(株)iti内  
Tel.03-6661-7574 Fax.03-6661-7576  
E-mail: haac@haac.or.jp  
URL: <https://www.haac.or.jp/>

### 人と動物の未来センター「アミティエ」

(鳥取県動物愛護センター)  
〒682-0643 鳥取県倉吉市下福田706-127  
Tel.0858-33-5397  
URL: <https://www.haac.or.jp/>



## 理想と理念

### —動物との共生の未来—

当財団は、地球という一つの大きな生命の中での、動物との共生の未来を探るという崇高な理念のもと、「獣医学に関する臨床的研究を行い、併せて獣医療技術の向上のための教育と知識の普及を行うことにより、動物臨床医学の発展と、さらに、人と動物の接点の探求及び動物愛護思想の啓発普及を図り、もって社会の福祉と学術の発展に寄与する」ことを目的として発足いたしました。それ以来、動物医療全般に関わる長期間の努力を積み重ねる一方、多くの関係者の方々の温かいご支援とご理解を得て、絶えず臨床獣医学界のニーズに応えながら一歩一歩前進して参りました。

事業としては、獣医学に関する臨床的研究はもとより、獣医学に関する刊行物の発行、学会や講演会の開催などの情報提供活動、獣医療のスタッフの教育・養成などの人材育成活動、また野生鳥獣の保護管理による自然資源の保護さらに動物愛護思想の啓発、普及のための保護施設「アミティエ」を介しての活動展開等、非常に広範囲の活動を続けております。

私共はこのいずれもが、動物医療の世界や社会の将来にとって大変重要なものばかりであると確信いたしております。

具体的事業としての最大の活動は、平成8年度より、小動物臨床研究会年次大会を発展的に解消し、日本学術会議に登録された「動物臨床医学会」と呼称する学会に移行し、年一回学会を開催していることであります。この学会には開業医は勿論のこと、各大学の臨床系さらに基礎系に至るまで、多くの臨床獣医学に興味をお持ちの先生方に加え、愛玩動物看護師、動物病院スタッフ、及び学生の方々に多数ご参加いただき、活発な議論がなされています。

今後とも、私共の力の及ぶ限りこの財団は多くの方々のご理解とご声援のもと、臨床獣医学界や社会に役立つことを目標の一つ一つの生命を大切にすることを基本として前進して参りたいと考えております。



約1,300年前に編まれた古事記に記されている神話「因幡(いなば)の白兔」は、大国主命(おおくにぬしのみこと)が傷ついた兔をガマの穂を用いて助ける物語です。この神話が語り継がれてきた鳥取県は、日本医療・動物医療発祥の地といわれています。シンボルマークは、この神話をモチーフに、中央に元気よく飛び跳ねている白兔を配し、その周囲をガマの穂で優しく包むことで、「地球上の生き物に優しく」という想いを表現しています。



## 公益財団法人 動物臨床医学研究所

Animal Clinical Research Foundation

すべての動物に  
よりよい明日を

# 獣医学術の発展と社会福祉向上のために

## 学術活動

### 動物臨床医学会

日本学術会議協力学術研究団体として認められている正式な学会です。臨床獣医学の向上を目指し年に1回大阪にて年次大会を開催しています。



会場の様子

#### 学会コンテンツ

- ・一般口演
- ・症例検討
- ・各種セミナー
- ・パネルディスカッション
- ・市民公開セミナー
- ・産業動物医学フォーラム
- ・動物病院スタッフセミナー
- ・ポスターセッション など



展示会場の様子

### 研究会・セミナー

小動物臨床血液研究会、小動物臨床栄養学研究会、動物のいたみ研究会、動物遺伝子疾患研究会、合同カンファレンス、認定愛玩動物看護師認定講習などの活動をしております。



合同カンファレンスの様子



## 社会貢献活動

### 保護犬・保護猫の譲渡

動物愛護活動の推進、動物愛護思想の向上、そして人と動物の共生を目的として、2011年に公益財団法人動物臨床医学研究所内に人と動物の会を発足しました。2013年には、人と動物の未来センター“アミティエ”を開設し、保健所から保護犬・保護猫を受け入れ、動物の保護および譲渡活動を中心に、アミティエフェスタや各種セミナーの開催など、動物愛護の普及啓発活動に取り組んでいます。



イベントの開催



本館



### 盲導犬の育成



2022年 6頭目貸与

日本国内で盲導犬の頭数が不足している現状を踏まえ、当財団では、1998年より盲導犬の育成に取り組んでいます。盲導犬育成基金をもとに育成をお願いし、約4年に1頭のペースで盲導犬貸与を実現しています。

### 野生動物の保護・管理

本拠地である鳥取県を中心に、さまざまな野生動物の救護活動を行うとともに、市民公開セミナーの開催などを通じて啓発活動にも取り組んでいます。

また、1999年には野生どうぶつ友の会を発足し、本趣旨にご賛同いただける方々を対象に会員募集を行っております。皆様からお寄せ頂く基金は、当会の活動を支える大切な資金となっています。



詳しくはこちら



## 農林水産大臣指定 小動物臨床研修診療施設

### 動物臨床医学研究所グループとして認定

2011年3月、倉吉動物医療センターを基幹診療施設とし、5つの協力病院で構成される小動物臨床研修診療施設の協力型臨床研修施設として、農林水産大臣の指定を受けました。臨床獣医師の育成に必要な臨床獣医学の知識および技能の習得を支援するとともに、動物医療に対する社会的要請に応えるための精神や態度を身につけることができる卒業教育の場として、質の高い臨床研修の提供に取り組んでいます。



## 獣医総合臨床認定医制度 認定愛玩動物看護師制度

小動物臨床において、一定水準以上の総合的な診療能力を持つ獣医師と、総合的な看護能力を備えた愛玩動物看護師を認定することで、日本の臨床獣医学の発展・向上を目指し、さらに、人々がより高水準の獣医療を受けられる社会の実現に貢献し、社会福祉の向上にも寄与することを目的としています。

※獣医総合臨床認定医は、農林水産大臣の認定を受けた「認定・専門獣医師協議会」より認証されています。

## 入会案内 (公益財団法人動物臨床医学研究所・動物臨床医学会)

#### 対象者

獣医師、大学関係者、愛玩動物看護師、動物病院スタッフ、医療関係者(医師など)、団体(企業・研究機関・動物園など)、学生(獣医大学、動物看護大学など)

#### 特典

定期刊行物の配布/年次大会・セミナーなど参加料の割引  
合同カンファレンス(オンライン)への参加(無料)  
認定愛玩動物看護師認定講習(オンライン)への参加(無料)など



詳しくはこちら

会員制ならではの充実したサポートとネットワークを提供しています。